



TEL090-8004-0577



TEL090-1690-5106

日本共産党市議会議員団

おぜき栄子
鳥井やすこ

無料法律相談会毎月第1火曜日 おぜき栄子・鳥井やすこ事務所
相談される方は事前に事務所へ連絡をして下さい。

にこっと通信

第159号

2023年1月15日(日)

足利市田中町789
第3石川ビル3階
TEL(72)7848
FAX(71)8392

おぜき栄子

2023年の新しい年を迎えいかがお過ごしでしょうか。昨年、今も続くロシアによるウクライナ侵略、岸田政権の無為無策のために3年目となる新型コロナウイルス感染症への検査体制などの予防・医療機関による治療など適切な対応がなされないまま「第8波」となり、福祉施設など死亡者が過去最高となる事態となりました。

こうした状況の中で、「新型コロナウイルス感染症の抗原検査・PCR検査の徹底、入院できる医療体制の充実を」と当局に働きかけ「憲法9条守れ、戦争する国づくり反対」と街頭からも訴えてきました。2019年の選挙時公約に掲げた「18歳までの子どもの医療費窓口無料化」を2022年10月から実現しました。

新型コロナウイルス対策で福祉施設の抗原検査の徹底、物価高騰による水道料金の引き下げ、事業所へのガソリンなどの燃油代・電気料金の補助金の創設を提案し、実現してきました。生活困窮した市民に寄り添い、生活保護申請や身近なさまざまな問題解決のために力を尽くしてきました。今年は、市議会議員選挙が行われます。市民の暮らし・営業を守るために、必ず2議席を押し上げていただけるように頑張る決意です。何より、「戦争するための国づくりを進める自公政権に審判を下す選挙にしたい」と考えます。皆さんの大きなご支援をお願いします。



十二月議会報告

鳥井やすこ

新しい年を迎え、皆様はどんな抱負や希望をお持ちでしょうか？私は「政治への信頼を取り戻す年にしたい」と考えています。以前から自公政権の財界癒着の政治には不信感しかありませんでしたが、昨年の安倍晋三元総理殺害から明らかになった、旧統一協会との癒着ぶりにはほとんど嫌気がさしました。党を創立した頃から、国民の暮らしを守ることに専心してきた日本共産党を標的にして、攻撃を繰り返してきた自民党と旧統一協会の関係が、政治を信頼できないものにさせたと言っても過言ではないと思います。

2019年の市議選で公約に掲げていた「高校卒業までの医療費窓口無料化」は昨年10月に実現することができました。次は「学校給食無料化」を進めたい。お隣の群馬県では35自治体のうち完全無料化が14自治体、一部条件付きで実施する自治体や、時限的に完全無料を行う自治体も広がっています。足利市で無料化を実現できないはずがありません。少子高齢化が恐ろしい勢いで加速している状況を、少しでも改善するために力を尽くしていきたい。そのためにも「対話の外交で平和を守り、何よりみんなの生活を優先に」という言葉を多くの方と共有することで希望の持てる未来を創造していく年にしたいと思います。

12月議会議案の賛否

議案	内 容	議案賛否	
		おぜき	鳥井
第82号	足利市職員の給与に関する条例等の改正	○	○
第83号	令和4年度足利市一般会計補正予算(第6号)	○	○
第84号	地方公務員法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○
第85号	足利市手数料条例の改正	○	○
第86号	令和4年度足利市一般会計補正予算(第7号)	○	○
第87号	令和4年度足利市一般会計補正予算(第8号)	×	×
第88号	足利市犯罪被害者等支援条例の制定	○	○
第89号	令和4年度足利市(仮称)あがた駅北産業団地開発 事業特別会計補正予算(第1号)	○	○

会期は、11月25日から12月19日でした。

主な議案

- ①市職員の給与に関する条例 ②手数料条例の改正
③一般会計予算補正予算

日本共産党市議団は以下の議案に反対しました

新クリーンセンター整備・運営事業の限度額603億5700万円の債務負担行為の補正である。
国の地球温暖化対策2050年、温室効果ガス実質ゼロカーボンニュートラル(CN)、プラスチック資源循環促進法(2021年6月制定)によって、日本の廃棄物行政に、真正正銘の焼却中心からごみの減量・資源化優先への大きな転機が訪れている。有識者は、焼却炉建設費の単価は、2011年度には、トン当たり4080万円だったのが2019年度には、1億340万円へと2.5倍以上跳ね上がった。

自治体はメーカー言いなりの価格で施設を買わされたうえに、より一層複雑化した焼却施設の運営を管理するために、専門の職員を抱えたメーカー系列の管理会社に頼るしかないため、高額な維持管理費を払い続ける状態にさらし、厳しい地方財政にさらに追い打ちをかけています。足利市も同様の状況になっているのではないかと。施設の維持管理費も現在の費用より、確実に引き上げられることになっていきます。今こそ、自治体はごみを出す住民の協力を得て、ゴミを元から出さない、再利用・再使用を進める、リサイクルするなどによって、燃やすごみを徹底的に減らす方針にきりかえ、自治体財政の健全化を図るべきです。

新クリーンセンター焼却規模

76トン×2炉:152トン

総事業費:603億5700万円

推定価格

建設費	焼却炉	*228億円
	付帯設備	72億円
合計		300億円

付帯設備:リサイクル、余熱体験施設

*ト当たり単価を1.5億円として

本来、議会に上程する場合は、議論の根拠となる総事業費の焼却炉、リサイクル施設、余熱体験施設建設費及び運営費(維持管理費)の限度額とその内訳を明らかにするべきではないでしょうか。白紙委任に近い、この最低限の表示のないまま、この議案に賛成するわけにはいきません。

総事業費の内訳が明示されない議案に反対

議案第87号 令和4年度一般会計補正予算



元旦から街頭で新年の挨拶と市政報告